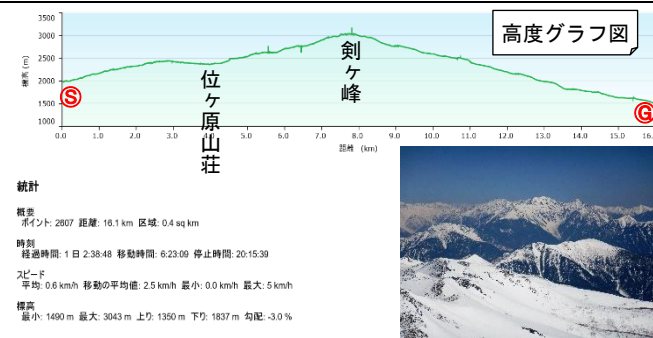
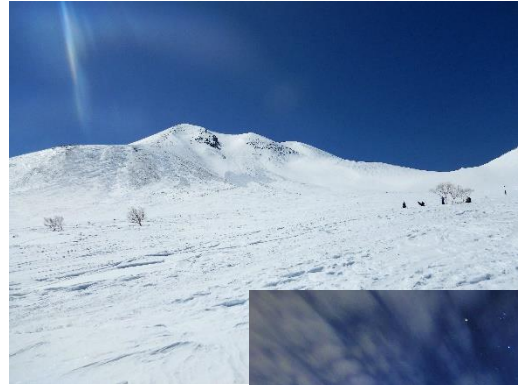
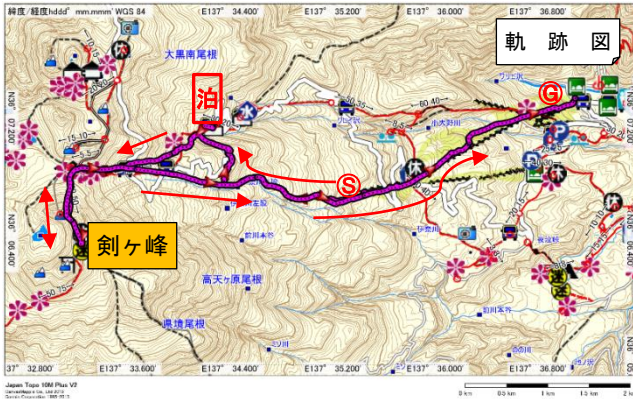


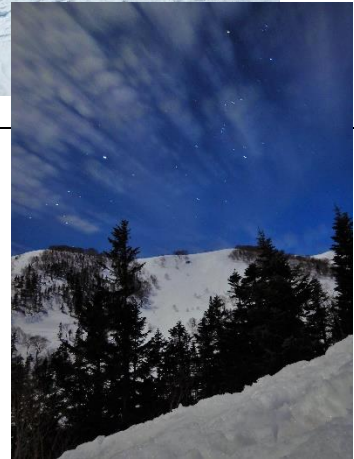
山行報告書

山名：乗鞍岳 3026m (長野県松本市・岐阜県高山市)

入山日：平成 30年3月27日 (火)~28日 (水) 晴 メンバー・報告者： 岩田



上：大雪渓と剣ヶ峰
 右：南の空にオリオン座とシリウス(位ヶ原山荘前にて、19時4分)
 左：剣ヶ峰山頂より槍穂高の遠望)



3月27日 (火) 【電車・バス】 7:18 大宮⇒(あさま 601号)⇒8:40 長野 9:00⇒(しなの 6号)⇒9:49 松本 10:10⇒10:40 新島々 10:55⇒11:43 スキー場前バス停 12:05 スキー場前 H=1500m⇒12:25 リフト終点 1990m ⑤ 12:35→14:33 ツアーコース分岐終点 2389m→16:00 位ヶ原山荘 (泊) 2363m ☎090-9001-7362 合計 4 km 3時間 25分

3月28日 (水) ⑤ 5:45 位ヶ原山荘 2363m→7:10 肩ノ小屋口→8:15~40 肩ノ小屋 2768m→9:43 蚕玉岳 2982m→9:55~10:55 乗鞍岳(剣ヶ峰)3026m→11:25~50 肩ノ小屋→12:42 ツアーコース終点分岐 2389m→13:45 リフト終点 1990m→⑥ 15:00 スキー場前 1500m 合計 12.1 km 9時間 15分 【バス・電車】 16:20 スキー場前バス停⇒17:08 新島々 17:23⇒17:52 松本 18:05⇒(しなの 19号)⇒18:58 長野 19:08⇒(あさま 630号)⇒20:26 大宮

個人装備： ツェルト、ヘッドランプ、地図、コンパス、アイゼン、ピッケル、ワカン、ストック、トランシーバー、ガ-シ GPS、目出帽、オーバークロップ、防寒衣、サングラス、テルモス

感想： 第一日目、リフトを3本乗り継ぎ終点から山間のスキーツアーコースを登っていく。長いなだらかな登りで、約一時間すると分岐の看板があり、右折し山荘に向かった。位ヶ原山荘は要予約で、ご主人が町に下山した日は臨時休業になるので注意が必要だ。宿泊者は4人のみだった。

第二日目、ご丁寧にご主人に見送られ、ワカンとストックで出発した。山荘内に注意書きがあったように、雪崩の発生しやすいルートを避け、樹林帯の中を進んだ。やがて広い雪原に出て大雪渓を登り、肩ノ小屋でアイゼンとピッケルに換えて稜線を行く。一部クラスト状態になっていて、朝日岳のトラバースは急斜面であり少し緊張したが、最後ひと頑張りすると絶景が待っていた。約一時間剣ヶ峰山頂で展望を楽しんだあと、来たルートに戻る。山頂から東面に下る冬ルートもあるが、雪崩れたようなところがあり、避けたほうが無難だ。肩ノ小屋に戻り、再びワカンとストックに換えた。大雪渓の真ん中を下り、リフトの下りは利用できないので、スキーコースをバス停まで歩いた。フォトギャラリーは下記のマイサイト“山の記録・MountainView”をクリックしてください。

http://www.geocities.jp/whitemountainview_123/